


研修名	新任者のための精神保健福祉基礎研修Ⅱ
講師	社会福祉法人 手をつなぐ育成会 相談支援事業所 すてら 事業所長 佐藤 みずほ 氏（精神保健福祉士、介護支援専門員、保健師）
開催日時	平成29年9月7日（木）13:30 ～ 17:00
開催場所	総合保健福祉センター（アシスト21）2階 講堂
参加者数	50人（生活支援員、指導員、ケアマネージャー、精神保健福祉士など）
研修の内容等	<p>前半は講義（ケアマネジメントのサイクル、サービス等利用計画の評価、アセスメントの目標、モニタリング、自助・互助・共助・公助からみた地域包括ケアシステム等）について学んだ。後半はグループワーク（事例検討、発表）を行った。様々な社会資源を知り、支援者の顔の見えるネットワークがあることが、利用者の豊かな生活につながること等事例を交えた具体的な内容で、有意義な研修の機会となった。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援において、横のつながりを持つことや選択の幅を広げることは、非常に重要であると講義・グループワークを通して理解できた。また自分自身の知識不足もわかり、視野が広がった。 ・事例を用いたグループ討議が大変勉強になった。自助、互助、共助、公助で何ができるのかということを見てもとらえていくと様々なアプローチがあると分かった。 ・障害者の方の生活面に関わることがないので、講義は目からウロコだった。1人で考え悩むのではなく、様々な資源を取り入れながら、暮らしやすい環境づくりを私達職員が切り開いていくことが大切だと思った。 ・自分の業務として、地域の在宅支援と全く関わりがなかったが、佐藤先生の話や研修に参加した多職種の方の意見から、多様な社会資源を知ることができた。また、新任者にとって、支援者同士のネットワークを構築する有意義な良い機会となった。 ・地域包括ケアシステムの講義、社会資源や本人の強みを探すグループワークなど、とても充実した内容の研修だった。今後の業務に活かしていきたいと思う。ほか